

令和7年第2回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和7年6月10日（火）・11日（水）午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
6月10日 （火）	1	竹内 和彦	1 大地の塔トイレ建設について	町長
	2	高橋真理子	1 地域資源を最大限に活用した産業振興について	町長 教育長
	3	丸子 直樹	1 小中学校における暑さ対策について 2 再編小学校について 3 児童クラブについて	町長 教育長
	4	齋藤 俊夫	1 組織管理と人事行政の在り方について 2 危機感と一貫性のある町政運営について	町長
6月11日 （水）	5	大和 晴美	1 肺炎予防の対策について 2 5歳児健診について	町長
	6	岩佐 孝子	1 あるもの探し、あるものいかしのまちづくり 2 賑わいのあるまちづくり	町長 教育長
	7	渡邊千恵美	1 災害に強いまちづくりについて	町長
	8	遠藤 龍之	1 山元町農政の取組について 2 介護保険事業の取組について 3 こども誰でも通園制度の取組について	町長

通告番号	1	1番 竹内 和彦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 大地の塔トイレ建設について</p> <p>大地の塔敷地内へのトイレ建設については、過去に2度、関連予算が修正されたが、令和7年第1回定例会において、建設に係る3,000万円の予算が可決され、執行可能な環境がここに来てようやく整ったところである。しかし、このことに関する新聞報道が3月にあり、その事実を知った町民が疑問を持ち署名活動等を展開したことなどから、次の2点について町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 去る5月22日、町内の子育て世代の若い有志が967人の署名簿を添えて、大地の塔トイレ建設の再検討を求める陳情書を町に提出した件に関する町長の見解について</p> <p>(2) この事案は、既に今年3月の議会において議決されているが、今後、町長としてどう対応していくかについて</p>	<p>町 長</p>

通告番号	2	2番 高橋 眞理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 地域資源を最大限に活用した産業振興について</p> <p>(1) 田んぼオーナー制度の導入について 昨今、米価高騰が続いているが、都市部に住む親子連れを含む方々が地方の水田で稲作に加わり、収穫したコメを受け取る「田んぼオーナー制度」が今まさに注目されている。その関心の高さから、なかには、定員を増やし、また、新たに制度の導入を検討している自治体もあると聞いている。 全国的な傾向として、高齢化や担い手不足が深刻化するなか、農業振興のほか、農地の維持管理にも一定の効果が期待できる「田んぼオーナー制度」の実態について調査し、本町でも取り入れる考えはないか。</p> <p>(2) 地域おこし協力隊を活用したさらなる農漁業等の活性化について ア 今後、地域おこし協力隊の観光・体験農園化計画プロジェクトを進めるうえで、町ではどのような施策（支援など）を考えているのか。 イ 東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた漁業について、関係者などによる不断の努力によって、町の一大ブランドであるホッキ貝が震災前の水揚量を上回るほどの実績を上げている。さらなる漁業振興のため、将来的な就業を見通した地域おこし協力隊を新たな町産業の追い風に、「ホッキ貝オーナー制度」について漁業関係者等と協議を進め、将来的に町で取り入れる考えはないか。 ウ 町全体の産業振興と経済の活性化等をにらみ、ホッキ貝の積極的な情報発信のツールとして、ホッキ飯条例の制定を改めて検討し、町のユニークさを押し出したまちづくりを推進する考えはないか。 エ 観光協会の機能については、夢いちごの郷を拠点とし、一定程度の成果を上げているところである。その一方では、地域おこし協力隊の力を得ながら、躍動的で魅力のある、より充実した観光機能を発揮している自治体も見受けられることから、この機運を捉え、本町においても「観光まちづくり協会」のような組織の立ち上げに努める考えはないか。</p>	<p>町 長 教育長</p>

通告番号	3	4番 丸子 直樹 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 小中学校における暑さ対策について 近年の夏季において連日30度を超えるようなこれまでにない暑さに対し、環境省・文部科学省では令和3年5月「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」を策定しているが、本町の小中学校現場での取り組みを伺う。</p> <p>(1) 熱中症予防対策は万全か</p> <p>(2) プールの授業時間を確保するためにどのような対応をしているのか</p> <p>(3) 二市二町で夏季休業中のプール開放の取りやめに至ったとのことだが、今後の開放の予定は</p>	教育長
<p>2 再編小学校について</p> <p>(1) 現在検討されている再編小学校では、小学校を新築するとのことだが、既存の山下小学校の体育館やプールの付帯設備をどう取り扱うのか。例えば、新たに小中合同で使えるような大きな体育館を建築する考えはないか</p>	町 長 教育長
<p>3 児童クラブについて</p> <p>(1) 全児童に対しての児童クラブ利用者の比率は</p> <p>(2) 利用人員増に現在の施設的な対策は十分なのか</p> <p>(3) 本町の児童クラブは各小学校の空き教室や近隣施設を利用しているが、新築する小学校に児童クラブを併設する考えはないか</p> <p>(4) 再編小学校への準備が進められているが、教育委員会との円滑な連携については</p>	町 長

通告番号	4	10番 齋藤 俊夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 組織管理と人事行政の在り方について</p> <p>(1) 組織目的の達成と町民福祉の向上実現を左右する、今年度の組織改編と人事配置の整合性等について</p> <p>ア 稼げるまちづくりを主導する、極めて重要な産業振興関係2課（農林水産課、商工観光交流課）の統合という組織改編を断行する一方で、これまで町民生活課長が兼務してきた会計部門の役職（会計管理者、会計課長、企業出納員）を分離し、新たに管理職を配置するという組織改編と人事異動に矛盾はないのか、その認識を伺う。</p> <p>イ 組織管理の中核を担う管理部門の管理職を補佐する体制として、枢要な班長にはキャリアを積み、スキルの高い相応の人材配置が常道とされる中で、当該班長には、その場で持ち上がりの新任班長という極めて異例な人事配置が行われたが、セオリー無視の人事行政、取り分け人事配置の在り方について、その認識を伺う。</p> <p>(2) ここ3年間、本町では、若手を中心に中途・早期退職者が増加傾向にあり、全国的な公務員離れを上回る由々しき事態を踏まえた職場環境の改善方策について伺う。</p> <p>(3) 町長のリーダーシップが発揮され、町長と職員とのコミュニケーションが取れた適正な職場環境の実現、及び信頼関係構築に向けた取組の実態について</p> <p>ア 焦らず、慌てず等をモットーに、ボトムアップによる業務執行を基本とする中で、長としてのリーダーシップは、いつ、どのような場面で発揮されているのか伺う。</p> <p>イ 適正な職場環境実現に向けた職員とのコミュニケーションは、いつ、どのような場面と形で図り、信頼関係構築に腐心されているのか伺う。</p> <p>ウ まちづくりに対する理念や基本的な考えを職員に示し、職員からの相談等に適時・適切な指示・判断やアドバイスをするなど、長を中心とした相互連携が図られるとともに、連帯感のある働きやすい職場環境形成について、その認識を伺う。</p>	<p>町 長</p>

2 危機感と一貫性のある町政運営について

町 長

(1) 町政を取り巻く内外様々な動きがある中で、熊の出没情報や幼保連携実現に伴う待機児童の状況などの取扱に象徴されるように、町民の安全・安心な暮らしを守る姿勢とともに、議会との信頼関係構築に向けた、危機感を持った適時・適切な情報収集と、タイムリーな情報の発信と提供、及び手落ちのない説明責任の遂行について、その認識を伺う。

(2) 諸規定に基づく首尾一貫した移住・定住施策の推進、及び疑義のない客観的な移住・定住支援策による人口減少対策の推進について

ア 移住・定住施策に関する一部の予算措置や業務執行は、本来の所管課である「子育て定住推進課」以外の「建設課」が担っているが、事務分掌規程など関係法令に抵触しないのか伺う。

イ 今年度から施行された「移住・定住支援補助」の制度見直しの説明に際し、その方針の一つとして示された「転出抑制を図るため、町内居住者と新規転入者の補助金の差を縮小」したとする、その合理的な根拠と考え方を伺う。

通告番号	5	5番 大和 晴美 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 肺炎予防の対策について 肺炎を引き起こすウイルス感染症として注視されているRSウイルス感染症等の対策について伺う。</p> <p>(1) 成人の肺炎の2割から3割を占めると言われる肺炎球菌とともに、重症化した場合は細気管支炎等を引き起こすとされるRSウイルス感染症について、町民の命や健康を守るため、多くの町民に行き渡るような感染予防に関する注意喚起などに取り組む考えはないか。</p> <p>(2) 薬事承認されたRSウイルスワクチンについては、令和7年1月から接種が可能となったが、保険適用外ということなどもあり、全額が個人の負担となっている。特に、乳幼児や基礎疾患のある方は重症化する可能性があることから、町で重症化リスクの高い人などをリストアップして現状を把握し、公費助成に取り組む考えはないか。</p>	町 長
<p>2 5歳児健診について 令和6年第1回議会定例会で答弁のあったことについて、その後の取組状況などについて伺う。</p> <p>(1) 「5歳児健診を実施する考え」に対し、「国の動向を注視しつつ、子育てしやすい環境整備を研究する」と答弁されたことについて、その後、1年以上が経過している。この間、どのように研究を行い、どう評価したのか。</p> <p>(2) 5歳児健診を早期に導入する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	6	11番 岩佐 孝子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 あるもの探し、あるものいかしのまちづくり</p> <p>2011年3月、東日本大震災で甚大な被害を受け、多くのものを失ったが、沢山の方々の温かいご支援ご尽力により、迅速な復旧と創造的復興を成し遂げてきたなかで、我が町には、先人が育み培ってきた優れた文化が保存・伝承されてきている。特に、歴史的建造物である茶室「此君亭」は町が誇れる唯一無二の財産である。</p> <p>世界的に猛威を振るった新型コロナウイルスも落ち着きを見せ、私たちは日常を取り戻しつつも、より魅力的な町づくりを推進していくため、次の3点について伺う。</p> <p>(1) 災害に強いまちづくりを目指していくための対策等 (①町の総合防災訓練の検証結果が次の訓練に活かされているのか、②地域コミュニティのあり方) について</p> <p>(2) 伝統・伝承文化等を保存し継承していくための考え方等について</p> <p>(3) 既存の公共施設 (中央公民館、小学校等) の老朽化対策について</p>	町 長 教育長
<p>2 賑わいのあるまちづくり</p> <p>震災後の人口減少が著しい坂元地区に住宅取得を希望する新婚子育て世帯や新規転入者等を対象に町有地「元坂元中学校跡地」を宅地に分譲することなどを目的として調査が実施された。その結果を基にした今後の方針について、次の2点を伺う。</p> <p>(1) 土地調査結果について、課題等を含めた現状をどのように受け止めているのか。また、今後の対策や事業の推進について</p> <p>(2) 町全体の土地利用及び人口減少対策等の考え方について</p>	町 長

通告番号	7	6番 渡邊 千恵美 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 災害に強いまちづくりについて</p> <p>近年、日本でも海外でも頻繁に災害が発生し、近い将来、南海トラフ地震や首都直下地震等が発生する確率が非常に高まっていると報道され、特に、東日本大震災以降、災害対策や防災・減災の意識が全国的にも高まってきている。</p> <p>先日、関係機関相互の協力体制のもと、当町で宮城県林野火災防ぎょ訓練が実施されたが、町ではこれまでも集中豪雨などによる水害対策や土砂災害を想定しての避難訓練を行ってきたことなどを踏まえ、今後、さらに防災意識を高めることが重要と考えることから、次の5点について伺う。</p> <p>(1) 豪雨災害対策の進捗状況と今後の対策について</p> <p>(2) 自主防災組織への支援について</p> <p>(3) 避難経路の確保について</p> <p>(4) 河川の浚渫状況について</p> <p>(5) 災害ボランティアの事前登録制度を導入する考えについて</p>	<p>町 長</p>

通告番号	8	3番 遠藤 龍之 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 山元町農政の取組について</p> <p>(1) 農政の大きな方向を定める「食料・農業・農村基本法」が改正されたが、山元町農政への影響は</p> <p>(2) 「食料供給困難事態対策法」の対応は</p> <p>(3) 新規就農者育成総合対策事業の取組の現状と今後の対応は</p> <p>(4) 地産地消の取組の現状は</p>	町 長
<p>2 介護保険事業の取組について</p> <p>介護保険事業は全国的に深刻な人手不足やヘルパーの高齢化、事業所の閉鎖などで危機が広がっている。そのうえ、2024年4月に国が訪問介護の基本報酬を引き下げた結果、さらなる危機が迫っている、という介護事業の現状がマスコミ等で伝えられている。次の点について伺う。</p> <p>(1) 施設入所の状況は</p> <p>(2) 介護保険事業の取組について（高齢者が高齢者を介護、低い介護報酬のためにヘルパーの賃金や処遇は低く、深刻な人手不足が続いている、と言われていたが、山元町での訪問介護事業の取組に問題はないか）</p> <p>(3) 地域包括支援センターの機能強化の取組の現状と課題は</p> <p>(4) 養護老人ホーム（梅香園）の再建は</p>	町 長
<p>3 こども誰でも通園制度の取組について</p> <p>0歳6か月から3歳未満の子どもを対象に、親の就労要件を問わず、月一定時間利用枠のなかで、時間単位での利用を可能とすることが、法律上の制度となったようだが、町の対応は。</p>	町 長